

ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2017-02 組入完了のお知らせ

2017年3月1日

平素は、「ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2017-02」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドにおいて、ポートフォリオの構築が完了致しましたこととお知らせいたします。

＜基準価額・純資産の推移＞

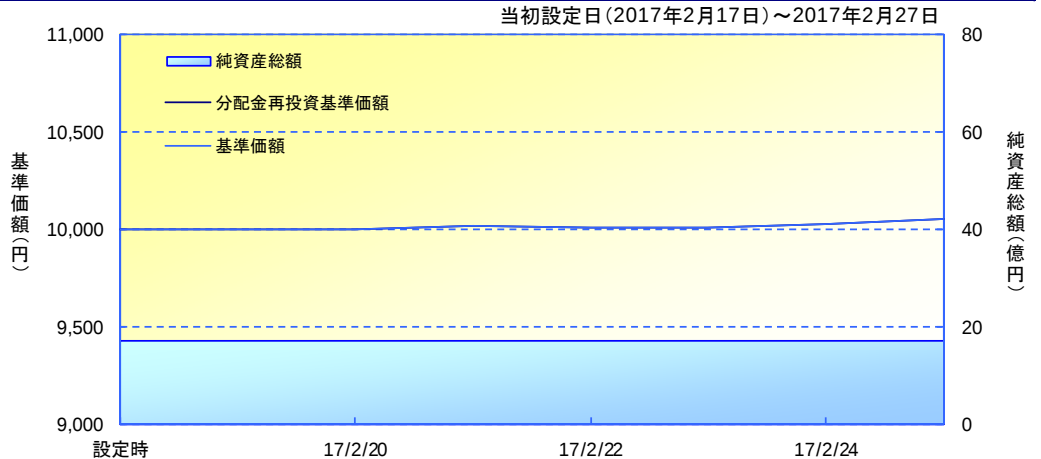
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年2月27日現在

基準価額	10,049 円
純資産総額	17億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	+0.5 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	21	94.5%
コール・ローン、その他※		5.5%
合計	21	100.0%
※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。		

債券 ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	2.6
最終利回り(%)	2.7
修正デュレーション	4.9
残存年数	5.3
※ポートフォリオ特性値は債券ポートフォリオに対する値です。為替ヘッジに伴うコスト等を考慮した値ではありません。	

債券 種別構成		合計94.5%
種別		比率
事業債		71.5%
地方債		12.1%
政府機関債		11.0%

通貨別構成		合計100.0%
通貨		比率
日本円		99.4%
米ドル		0.6%
※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。		

債券 格付別構成	
格付別	比率
AAA	22.0%
AA	64.8%
A	13.2%
BBB	---
BB以下	---
合計	100.0%

※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	合計60.9% 比率
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	米ドル	2.998	2022/02/22	7.5%
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	米ドル	2.846	2022/01/11	7.5%
ORIX Corp	米ドル	3.2	2022/01/19	7.5%
Mizuho Financial Group Inc	米ドル	2.273	2021/09/13	7.3%
Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	米ドル	2.25	2021/09/07	7.3%
Nissan Motor Acceptance Corp	米ドル	2.8	2022/01/13	5.1%
Central Nippon Expressway Co Ltd	米ドル	2.091	2021/09/14	4.9%
NTT Finance Corp	米ドル	1.9	2021/07/21	4.9%
JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	米ドル	2.125	2023/10/25	4.8%
Japan Tobacco Inc	米ドル	2.8	2026/04/13	4.0%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■最近の投資環境

当ファンド設定前の米国では、新政権による財政支出拡大などの経済政策に対する期待が高まったことで、国債の利回りや米ドルが2016年末にかけて上昇しました。しかし2017年に入ってから、政策の実現性を見極める動きの中で一服感が広がりましたが、利上げ観測などを背景に国債の利回りや米ドルは高止まりしています。こうした環境下、市場のリスク選好姿勢は強く、米ドルなど外貨建て社債については、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)が縮小基調となりました。当ファンド設定後も、発行体の信用力に目立った悪化は見られず、多くの銘柄はスプレッド縮小とともに社債金利が低下(債券価格は上昇)傾向となっています。

■運用状況

当ファンド設定後は、速やかに日系企業が発行する高格付けが付与された外貨建て債券の組み入れを行い、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。また、債券ポートフォリオの修正デュレーションは、当ファンドの残存年数と同程度に調整しました。ポートフォリオ構築に際しては、デフォルト(債務不履行)リスクや債券の流動性などに留意しつつ、市場規模が大きく相対的に流動性の高い米ドル建ての債券に投資し、業種別では利回りに投資妙味のある金融セクターを軸に銘柄を選別しました。

■今後の見通し

米国では、トランプ大統領による政策期待に加え、原油価格の上昇などを背景にインフレ期待も強まっており、継続的な利上げ実施観測とともに金利の上昇圧力がさらに高まる局面が予想されます。ただし、トランプ大統領の経済政策に対する市場の期待は高いものの、実現性やその効果については不透明な部分が多く、米ドル高による経済への悪影響なども勘案すると、FRB(米国連邦準備制度理事会)による利上げペースは緩やかなものにとどまると考えています。

当面の債券市場では、トランプ大統領の政策運営に応じてボラティリティ(価格変動性)が高まりそうですが、利上げペースが緩やかなものであれば、発行体の多くは財務信用力が安定していることから、米ドル建て社債の投資環境は大きく悪化しないとみています。また、世界的な低金利環境で、より高い利回りを求める投資需要も期待され、社債市場を支援するとの見方に変わりはありません。

今後の運用に際しては、現状の組入債券の継続保有を基本として利回りの実現を重視し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指す方針です。

以上

ダイワ高格付日本企業外債ファンド (為替ヘッジあり)2017-02

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資します。※社債等は劣後債を除きます。
 - 日系企業とは、日本企業もしくはその子会社をいいます。
 - 社債等には、日本の政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。
 - 投資対象は、主として日系企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。必ずしも、上記通貨のすべてが組入れられるわけではありません。
 - 流動性の確保およびポートフォリオの修正デュレーションの調整のため、上記通貨建ての海外の国債に投資することがあります。
 - 外貨建て社債等の格付けは、取得時において A 格相当以上とします。
 - ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンドの残存年数+0.3（年）以内とすることをめざします。
2. 「為替ヘッジあり」と「部分為替ヘッジあり」の2つのファンドがあります。
 - 「為替ヘッジあり」は、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - 「部分為替ヘッジあり」は、保有実質外貨建資産について、為替ヘッジを行なうことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を70%に近づけることをめざします。
※為替ヘッジしていない部分については、為替変動の影響を受けます。※2つのファンドとも、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・ マザーファンドは、「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド 2017-02」です。
 - ・ マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カンントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ高格付日本企業外債ファンド
(為替ヘッジあり)2017-02

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.54% (税抜 0.5%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会